

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		11-	11
事業名	林業経費	会計	款	項	目
		一般	6	1	5
施策	4 快適なまち	課名	産業課		
	4-1 環境と共生するまちをつくる	係名	土地改良係		
	4-1-3 景観の形成				
主要施策	①景観の保全				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。
事業内容	危険木伐倒等業務 みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象とした整備を集中的に実施します。 また、人家裏や通学路沿いで倒木の恐れのある危険木の除去等も行います。 林業業務 森林にかかる許認可事務をはじめ、法定により整備することとなった林地台帳の整備と運用を行います。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
指標	1	危険木伐倒本数	181	121	37	本	→	20
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					30,472	5,044	4,882	
財源内訳	直接事業費 A				27,172	1,744	1,582	
	うち一般財源				1,767	46	117	
人件費 (千円) B					3,300	3,300	3,300	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.50	3,300	0.50	3,300	0.50	3,300
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画		③取組の課題	みえ森と緑の県民税市町交付金を財源として、本町の事業に取り組んでいるが、使途に制約が多いことから、県に対し緩和措置を講ずるよう要望する。
②R1年度に実施した取り組み	みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、危険木伐倒等の業務を実施し、公共施設の木質化や町の森林づくりを効果的に実施するため、交付金の一部を基金へ積み立てた。	④今後の改善計画	・笹尾、城山地区の外周危険木伐倒について、一定の成果が出たことから、今後はこの水準を維持する。 ・交付金の一部を基金へ積み立て、公共施設の木質化を推進する。